

# 平成 21 年度食育推進計画進捗状況

## 保育所食育推進事業

### 1 幼児肥満等発育調査

- (1) 目的 幼児期の健やかな成長のため、肥満、やせ等の調査を実施し、栄養状態等の把握をする。
- (2) 実施日 平成 21 年 6 月
- (3) 調査対象 市内保育所・私立保育園に通う 3 歳～5 歳児の 2,065 人
- (4) 調査結果 肥満度+15%以上の児童が全体の 5.4%で、平成 20 年度と比較すると 0.8%増加した。

### 2 キッズ健康（肥満予防）講座

- (1) 目的 幼児期の肥満が学童期の高度肥満に移行しやすく、早期対応が必要なため実施する。
- (2) 実施日 平成 21 年 11 月 24 日（火）
- (3) 会場 三条市総合福祉センター1 階 多目的ホール
- (4) 内容
  - ア 三条市の実態について（新潟県小児肥満等発育調査から）  
健康づくり課 食育推進室 管理栄養士
  - イ 実践発表 <保育園や学校での取組>  
社会福祉法人報徳福祉会 第二つくし保育園 園長 藤田千鶴子様  
三条市立飯田小学校 養護教諭 遠藤悦子様
  - ウ 講話 「幼児期の肥満予防について」  
講師 厚生連村上総合病院 小児科医師 勝山幸一様
- (5) 参加者数 75 人
- (6) 参加者の感想
  - ・学校や保育園での実践のイメージがつかめ、参考になった。
  - ・保育所、小学校での取組の大切さを知り、家庭で十分に気を配らなければと思った。大変よい学習でした。
  - ・早寝・早起き・朝ごはんなど生活習慣の大切さがわかった。
  - ・生活習慣の中で見直すことがたくさんあり、とってもわかりやすかった。これからどうしたらいいのか、ためになることがあった。

### 3 食育講座 <今年度から従来の食育講座と野菜作り体験を一本化した形で実施>

- (1) 目的 児童が野菜作りや調理体験を通して、食事や食品に関心をもち、楽しみながら実践できる子どもに育てる。また、家庭への食育を推進する。
- (2) 内容 5 歳児が種まきや苗を植え、栽培・観察し、収穫したものを親子で調理し会食する。また、保護者に食育講話を行う。
  - ア 講話「楽しく食べる子どもに」
  - イ 調理実習  
「菜入りふりかけ」や季節に応じた手作りおやつを紹介。保護者から補助してもらいながら、カレーなどの身近な献立で、材料の皮ひきや切る体験をする。

※実施状況詳細は別紙 1 参照

## 5 指導者食育研修会

- (1) 目的 保育所における食育を推進するため、専門家による研修会の開催
- (2) 実施日 平成21年5月12日(火)
- (3) 対象 保育士
- (4) 参加者 34人
- (5) 内容

ア 実技指導 実際に畑で畝の作り方や苗の植え方を体験する。  
さつまいもの苗植え及びプランターでの夏野菜の苗植え

イ 講話 「畑やプランターを利用した野菜づくり ～春の苗植え～」

講師 三条地域振興局農業振興部普及課 遠藤 厚志普及指導員

### (6) 参加者の感想

- ・ 実技指導は目で見て実践してみたので、毎年実施してほしいです。
- ・ 実際の植え方や接ぎ木のことなど大変よくわかって、今後の保育所で畑作りの参考になりました。
- ・ 育てているじゃがいもに不安があったが、大丈夫と知り安心しました。いろいろの質問もためになり、プランターで育てられる野菜はどんなものが適しているのかも知ることができて良かった。

## 6 保育所巡回指導

- (1) 目的 保育所等児童の朝食欠食は平均で1.6%、肥満傾向児は5.4%、また本来不要の帰宅後のおやつの喫食率は約6割であり、子どもたちの生活リズムや食生活の乱れが懸念される。本取組みにより、子どもたちが食べ物と体の関係に関心を持ち、自らすすんでバランスのよい食事ができるよう、食に関する知識の基礎づくりを目指す。また、保育職員や保護者の食に関する意識を高める契機とする。
- (2) 巡回内容 市の管理栄養士が、市内の保育所等31施設を約月1回の頻度で訪問し、児童の給食状況を把握するとともに、食指導を実施する。

### ア 指導目標

- (ア) 料理を赤・黄・緑・その他のグループに分けられる。
- (イ) 4つのグループの料理それぞれの役割を知り、偏食しないことの大切さに気づく。
- (ウ) 主食・主菜・副菜・お汁を知り、お膳のかたちに配膳できる。

### イ 指導媒体

- (ア) 保育所給食(巡回指導日の給食献立)
- (イ) 朝食(巡回指導日に児童が食べてきた朝食献立)
- (ウ) そのまんま料理カード、ランチョンマット(三条市作成)

(3) 実績(平成 22 年 1 月末現在)

ア 巡回状況

	回数(回)	延人数(人)
3 歳児	62 回	1,003 人
4 歳児	106 回	1,828 人
5 歳児	116 回	2,145 人
未満児	18 回	224 人

※ その他として所(園)長や保育士、調理士等との情報交換、保護者への栄養相談等

平成21年度 保育所食育講座実施状況(実績)

	施設名	保護者食育講座		
		実施日 (予定)	参加者	
			児童	保護者
市立	田島保育所	9月18日	20	19
	裏館保育所	9月15日	11	10
	旭保育所	8月11日	18	16
	保内保育所	8月6日	22	22
	一ノ門保育所	10月23日	18	18
	嵐南保育所	1月26日	18	18
	鱒田保育所	7月8日	28	25
	須頃保育所	11月6日	16	15
	月岡保育所	10月20日	21	19
	塚野目保育所	10月21日	25	23
	西四日町保育所	7月17日	15	15
	大島児童館	6月11日	12	11
	福多保育所	1月20日	38	37
	大和保育所	2月4日		
	あいあい保育所	10月27日	26	26
	川通保育所	7月29日	22	21
	飯田保育所	7月23日	24	24
	荒沢保育所	10月14日	12	12
	名下保育所	9月11日	7	6
	中浦保育所	7月24日	12	11
千代が丘保育所	6月18日	26	26	
私立	本成寺保育園	1月16日	30	28
	北陽保育園	8月4日	35	21
	つくし保育園	2月16, 18日		
	ふじの木保育園	5月27, 28日	54	54
	第二つくし保育園	10月16日	28	25
	きらきら保育園	8月29日	25	25
	ひまわり保育園	7月22日	21	20
	にじいろ保育園	10月30日	29	29
	どれみ保育園	8月28日	22	18
	おぎぼり保育園	11月13日	17	17
合計			652	611

# 学校食育推進事業

## 1 目 的

子どもたちが生涯を健康に暮らせるための食習慣を確立させるため、学校教育において食を中心とした健康教育を効果的に実施する。

## 2 小中学生血液検査結果（資料No.4）

## 3 学校における食育

（指定校区：第三、第四、本成寺、大崎、大島、栄、下田中学校区、第二中学校）

### (1) 個別指導

ア 内 容 身体計測、血液検査結果に基づく個別の保健・栄養指導を実施

イ 対 象 身体計測、血液検査結果が、要指導及び要受診の児童・生徒及びその保護者

学校名	実施日	指導人数(人)
三条小学校	7月10日	16
裏館小学校	7月2・3・6日	23
上林小学校	6月10日	11
井栗小学校	7月27日	19
旭小学校	8月4日	8
西鱒田小学校	7月8日	24
月岡小学校	7月28日	14
大崎小学校	7月27～29日	37
保内小学校	7月27～29日	15
大島小学校	11月25・26日	5
須頃小学校	7月1日	4
栄中央小学校	7月14日,8月5～7日	30
栄北小学校	11月17～19日	9
大面小学校	7月22日・8月17日	4
長沢小学校	7月15・28・29日	7
笹岡小学校	8月5・6日	8
大浦小学校	7月13日	1
森町小学校	7月8日	1
荒沢小学校	8月6日	1
飯田小学校	6月25・26・29日	9
第二中学校	12月15～18日	62
第三中学校	12月16～18日	35
第四中学校	12月16～18日	20
本成寺中学校	7月30日～8月10日	43
大崎中学校	7月16～22日	70
大島中学校	7月22日	32
栄中学校	7月29日～8月10日	51
下田中学校	7月29・30日他	87
1月29日現在 校実施		646

ウ 気付き

- ・おかずばかり食べていたけど、これからは考えて食べたい。(児童)
- ・いつも食べているご飯の量では足りないことがわかった。(生徒)
- ・好きなものばかり食べてはいけないことがわかった。(生徒)
- ・子ども自身が、足りないものを自分で補おうとするようになった。(母)
- ・子どもと一緒に話を聞き、日頃子どもが思っていることを知って一緒に頑張ろうと思った。(母)

(2) 食育講演会・講話

ア 内 容 専門家による食生活についての講話。新規中学校（2校）及び継続中学校（6校）は新潟県立大学 宮西邦夫教授による講演。新規小学校（1校）継続小学校（20校）は市の管理栄養士による講話。

イ 対 象 小学5年生とその保護者、中学1年生とその保護者（対象学年外も可）

学校名	実施日	参加人数(人)	
		児童生徒	保護者
三条小学校	7月10日	5年生 36	22
裏館小学校	11月15日	5年生 35	3
上林小学校	11月18日	5年生 25	0
井栗小学校	9月17日	5年生 64	10
旭小学校	7月7日	5年生 11	8
西鱒田小学校	中止(インフルエンザ)	—	—
月岡小学校	12月2日	5年生 48	40
保内小学校	6月30日	5年生 33	2
大島小学校	11月12日	5年生 11	0
須頃小学校	10月21日	5・6年生 31	0
栄中央小学校	7月14日	5年生 54	41
栄北小学校	6月12日	5年生 17	10
大面小学校	9月19日	5年生 40	6
長沢小学校	9月25日	5年生 28	12
笹岡小学校	1月21日	5年生 11	10
大浦小学校	7月2日	5年生 12	12
森町小学校	11月18日	5年生 8	4
荒沢小学校	7月15日	5・6年生 10	0
飯田小学校	12月17日	5年生 21	0
第二中学校	11月25日	1年生 109	11
第三中学校	11月5日	1年生 89	1
第四中学校	12月1日	1年生 94	5
本成寺中学校	7月9日	1年生 89	6
大崎中学校	6月25日	1年生 158	10
大島中学校	7月16日	1年生 31	9
栄中学校	11月26日	1年生 94	4
下田中学校	12月3日	1年生 100	0
1月29日現在	26校実施	1,259	226

※今後実施予定 1校（大崎小学校）

ウ 気付き

- ・食べ物を大切にしようと思った。(児童)
- ・野菜や肉を無駄にしまわぬように気をつけたい。(児童)
- ・ごはんを増やし、バランスの良い食事をして健康でいたい。(児童)
- ・今まで何も思わなかったが、タバコを吸っていると肺が真っ黒になるということが印象深かった。お父さんにタバコをやめるように言う。(生徒)
- ・食事をする意味や食べ物を粗末にしてはいけないことを改めて聞いた。子どもの頃親から教わった当たり前のこと。今は自分自身と自分の子どもにしっかり教えなければならないと思った。(母)
- ・私の食事が子どものこれからの健康を左右することを改めて感じた。今日から子どもの食べ物についての考え方や食べ方を改善したい。(母)

(3) 食育授業

ア 内 容 栄養教諭及び学校栄養職員等を主な授業者として、血液検査等結果に基づく食を中心にした健康教育を実施。(養護教諭から血液検査の見方について事前指導あり)

イ 対 象 小学校5年生、市内全中学校1年生

学校名	実施日	指導人数(人)	学級数
三条小学校	1月20日	17	1
裏館小学校	6月17日	45	2
上林小学校	11月18日	25	1
井栗小学校	6月16日	70	2
旭小学校	6月25日	11	1
西鱒田小学校	7月8日	46	2
月岡小学校	6月30日	51	2
保内小学校	9月29日	36	1
大島小学校	11月2日	12	1
須頃小学校	7月1日	16	1
栄中央小学校	9月9日	53	2
栄北小学校	10月2日	17	1
大面小学校	7月7日	42	2
長沢小学校	7月17日	30	1
笹岡小学校	7月14日	12	1
大浦小学校	7月13日	12	1
森町小学校	7月8日	9	1
荒沢小学校	7月6日	5	1
飯田小学校	7月15日	22	1
第一中学校	10月16日	173	5
第二中学校	11月25日	109	3
第三中学校	11月6日	89	3
第四中学校	1月26日	104	3
本成寺中学校	7月9日	88	3
大崎中学校	9月14日	157	4
大島中学校	7月17日	31	1
栄中学校	11月13日 12月18日	84	3
下田中学校	6月29日	109	3
1月29日現在 27校実施		1,475	53

※今後実施予定 2校 (三条小学校、大崎小学校)

- ウ 気付き
- ・今までの食事はごはんが少なかったので、もっとごはんを増やそうと思った。(児童)
  - ・野菜は苦手だけど、少しずつ食べるようにする。(児童)
  - ・朝食に、プリンや菓子パンを食べていたけど、良くないことがわかった。明日から、バランスよく食べようと思う。(児童)
  - ・主食の次に多いのは主菜だと思っていたが、副菜の方が多く必要なことがわかった。(生徒)
  - ・主菜の量が少なくて驚いた。(生徒)
  - ・毎日の食事が大人になってからも健康でいるために大切だとわかった。(生徒)
  - ・自分はすごく偏った食べ方だと思った。朝食は食欲が無くて食べないことが多いけど、早起きして食べるようにしたい。(生徒)

(4) 親子食育教室

ア 内容 親子で調理や運動についての体験学習を実施。主に市の管理栄養士、学校栄養職員、食生活改善推進委員、運動指導士による指導。

イ 対象 小学校6年生及び保護者

学校名	実施日	述べ人数(人)	
		児童	保護者
三条小学校	9月9日	28	35
裏館小学校	中止(インフルエンザ)	—	—
上林小学校	9月13日	26	24
井栗小学校	6月16日	53	21
旭小学校	9月11日	10	10
月岡小学校	7月9日	65	65
大崎小学校	調理：11月19・24・26日	113	—
	運動：12月1日	105	1
保内小学校	6月9日	36	24
大島小学校	1月14日	16	15
須頃小学校	12月24日	18	12
栄中央小学校	実施せず(5年次に実施済み)	—	—
栄北小学校	10月9日	16	12
大面小学校	9月11日	25	25
長沢小学校	9月25日	28	7
笹岡小学校	1月21日	7	3
大浦小学校	10月7日	6	4
森町小学校	11月6日	12	9
荒沢小学校	1月9日	5	5
飯田小学校	運動：12月9日	31	17
	調理：12月22日	31	—
1月29日現在 17校実施		631	289

※今後実施予定 1校(西鱈田小学校)

ウ 気付き ・100Kcalを消費するのは簡単だと思っていたけど、40Kcalしか消費できなかった。(児童)

・100Kcalを消費するのはものすごく疲れた。食べるのは簡単だけど消費するのは大変だった。(児童)

・親子で楽しい時間が過ごせた。食事も運動も勉強不足で、改めて考えさせられることが多かった。(母)

・親の言うことはなかなか聞いてくれない年頃なので、一緒に体験は親子で健康を考える良い機会になった。(母)

#### (5) 交流給食会

ア 内容 年長児と小学生低学年が給食会食を通じて交流する。

イ 対象 指定校区内の保育所等の年長児と小学校低学年

学校名	実施日	指導人数(人)		
		小学校児童	施設児童	保育士
上林小学校	中止(インフルエンザ)	—	—	—
保内小学校	11月25日	28	23	2
須頃小学校	12月10日	14	16	2
1月29日現在 3校実施		42	39	4

※随時実施予定

- ウ 気付き
- ・来年度の新1年生と接することで、進級し上級生になる自覚が芽生えるようだ。(教員)
  - ・給食時間のルールを新1年生に教えることで、自分自身でも確認できる。(教員)
  - ・保育所修了までに学校給食を体験できて、とても実り多い取組だと感じる。学校生活への不安が軽減されると思う。(保育士)
  - ・給食を時間内に食べ終わろうとする姿が見られるようになった。交流会を体験して、小学校への期待や成長が感じられる。(保育士)

#### 4 指導者食育学習会

- (1) 実施時期 平成22年2月16日(火)
- (2) 会場 栄庁舎 3階 大会議室
- (3) 内容 演題 「子どもが作る弁当の日を实践して」  
講師 新潟市立味方中学校 校長 小林恵子 様

#### 5 生産者交流会

平成21年12月2日～平成22年2月5日の期間、希望校で実施予定

#### 6 給食残量調査

- (1) 実施時期 平成21年11月の2日間
- (2) 対象 市内小学3・4年生、中学1・2年生

#### 7 子ども生活実態調査

- (1) 実施時期 平成21年12月～平成22年1月に実施予定
- (2) 対象 市内小学3・4・5年生、中学1・2年生

#### 8 その他

- (1) 食農教育 学校教育田による稲の栽培・収穫体験(23校)、野菜などの農作物の栽培・収穫体験(8校)
- (2) 有機栽培米の導入(3学期から)
- (3) 高校生の食育
- ア 実施時期 平成21年6月22・24・25・26日
- イ 人数 3年生5学級175人
- ウ 内容 「食生活の自立について」(授業)

## 地産地消推進事業

### 1 しみん朝市支援

(1) しみん市仲間の会役員会

ア 日 時 平成 21 年 5 月 20 日 (木)

イ 出席者 出店者 7 人

ウ 内 容 5 月 30・31 日のウェスタンリーグ新潟シリーズにおける出店について  
しみん朝市における役割分担

(2) しみん市仲間の会総会及び意見交換会

ア 日 時 平成 21 年 4 月 8 日(水)

イ 出席者 出店者 22 人

ウ 内 容 20 年度事業報告・会計決算報告、21 年度事業計画・会計予算、規約改正、  
しみん朝市の再開について、意見交換会

(3) しみん市開催 5 月 17 日(日)～12 月 13 日(日)まで

(4) その他

ア クリーンデー・・・5 月 10 日(日)三條機械スタジアム 1 塁側スタンド脇噴水広場及び歩道側の草取り

イ お盆市の開催・・・8 月 13 日 (木) 午前 7 時から

ウ 初回のお楽しみ抽選会は来場者 527 人

エ 毎月月末にはお楽しみ抽選会及び 1 塁側スタンド脇噴水広場及び歩道の草取り

オ 大感謝祭を 11 月 8 日開催。豚汁のサービスを行う。来場者 260 人

### 2 平成 21 年度学校給食地場産品利用状況

三条産品における給食食料自給率 92.0% (エネルギー換算による)

### 3 給食における三条産品利用促進打合せ会

(1) 開催日 毎月初旬

(2) 参集者 三条地域振興局農業振興部普及指導員、JA にいがた南蒲各地区担当者  
青果物納入業者各地区担当者 (学校、保育所)、学校給食共同調理場場長、学校給食  
共同調理場栄養士、三条市農林課担当者、食育推進室担当者

(3) 内 容 学校給食や保育給食で使用する地元産野菜等の使用計画に基づく打合せ及び農産  
物の生育状況の確認、目合わせ (規格検討) の実施

(4) 使用品目 29 品目

大豆、きゅうり、キャベツ、たけのこ、アスパラガス、玉葱、じゃがいも、小松菜、  
とうもろこし、枝豆、ごぼう、大根、白菜、葱、ほうれん草、さつまいも、さとい  
も、ミディトマト、ブドウ (巨峰)、梨 (豊水、新高、新興)、ルレクチェ、漬物 (た  
くあん、大根の甘酢漬、たい菜漬)、みそ、どじょう

学校給食のみ：米、鶏卵、ぶた肉、梅干し

保育所給食のみ：キウイフルーツ

### 4 広報活動

旬の食材の紹介をするコーナー「旬のたより」を広報さんじょうに掲載 (7 回実施)

# 食育啓発事業

## 1 しみん食育と農業のつどい

### (1) 第一弾

ア 実施日 平成 21 年 9 月 7 日(月)

イ 会場 三条市中央公民館

ウ 内容

基調講演「自然がくれた人間力」 講師 タレント 高木美保様

エ 参加者 510 人

オ 参加者の感想

- ・ 本当の実践や経験からの話でとても感動しました。
- ・ 「命だぞ」と孫に教えられようになりたいです。
- ・ 命の尊さを教えてもらいました。感動しました。

### (2) 第二弾

ア 実施日 平成 21 年 10 月 17 日(土)

イ 会場 三条市農村環境改善センター

ウ 内容

○ 農業見学バスツアー（農業担い手協議会担当）

○ 弁当にピッタリ！我が家自慢のおかずコンテスト実食審査

○ 基調講演「子どもが作る弁当の日で何が育つか ～弁当の日に託した夢～」

講師 香川県綾川町立綾上中学校 校長 竹下和男様

○ クロストーク

コーディネーター 西日本新聞社 編集委員 佐藤弘様

パネラー 味方中学校 校長 小林恵子様

保護者代表 風間雅子様

三条市長 國定勇人

○ 弁当にピッタリ！我が家自慢のおかずコンテスト表彰式

エ 参加者 250 人

オ 参加者の感想

- ・ みなさんのこだわりで、おいしい野菜ができることを知り、考えさせられました。
- ・ 弁当作りをとおして、心の豊かさ、つながりができることがわかりました。
- ・ 今日からでもあきらめないで、できることを教えていきたいです。
- ・ 食べることの大切さ、奥深さを楽しく実感しました。感動しました。

### (3) 第三弾

ア 実施日 平成 21 年 11 月 15 日(日)

イ 会場 三条市嵐南公民館

ウ 内容

○ 基調講演「食卓の向こう側に見えるもの ～だから食育なんだ～」

講師 西日本新聞社 編集委員 佐藤弘様

○ 食卓の向こう側パネル展

エ 参加人数 160 人 (パネル展 11 月 13 日～20 日で参加者 350 人)

オ 参加者の感想

- ・ 改めて食の大切さや必要性を考えさせられました。
- ・ スライドや質問、ユーモアを交えた講演で非常に理解しやすく楽しかったです。
- ・ 親や子どものことを思い、感謝する気持ちが生まれました。

### (4) 第四弾 (実施予定)

ア 予定日 平成 22 年 2 月 21 日(日)

イ 会場 三条燕地域リサーチコア 7 階マルチメディアホール

ウ 内容

○ 基調講演「ふるさと村上鮭ものがたり」 講師 味匠喜つ川社長 吉川哲鮭様

○ パネルディスカッション

座長 駒沢大学教授 姉齒暁様

パネラー 消費者代表 老田澄様

農業者代表 星野正行様

三条市長 國定勇人

## 2 市民給食試食会

(1) 実施日 平成 21 年 10 月 7 日(水)

(2) 会場 三条市総合福祉センター

(3) 献立 ごはん、さんまの甘みそソース、さつまいものコロコロサラダ、ふのみそ汁、梨、牛乳

(4) 参加人数 113 人

## 3 食育メール

毎月 19 日に配信 別紙 3 参照

## 4 その他

(1) 燕三条 FM での情報提供 (6 月 24 日、10 月 28 日) 今後予定: 2 月 24 日

(2) ホームページの運営